

特別
14
696
222





龜屋喜兵衛雜船記

合

44
696
222





















け  
な  
り

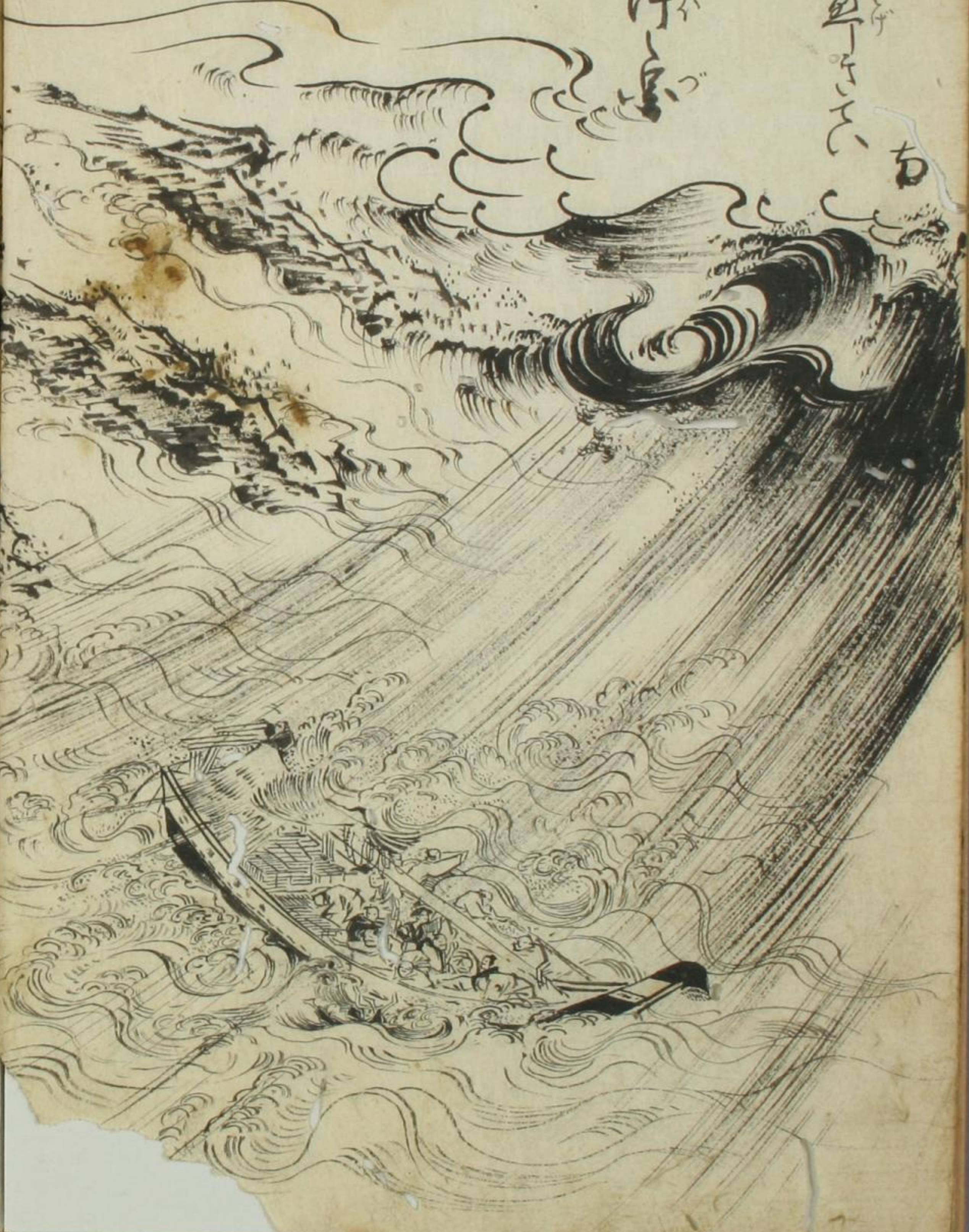


小

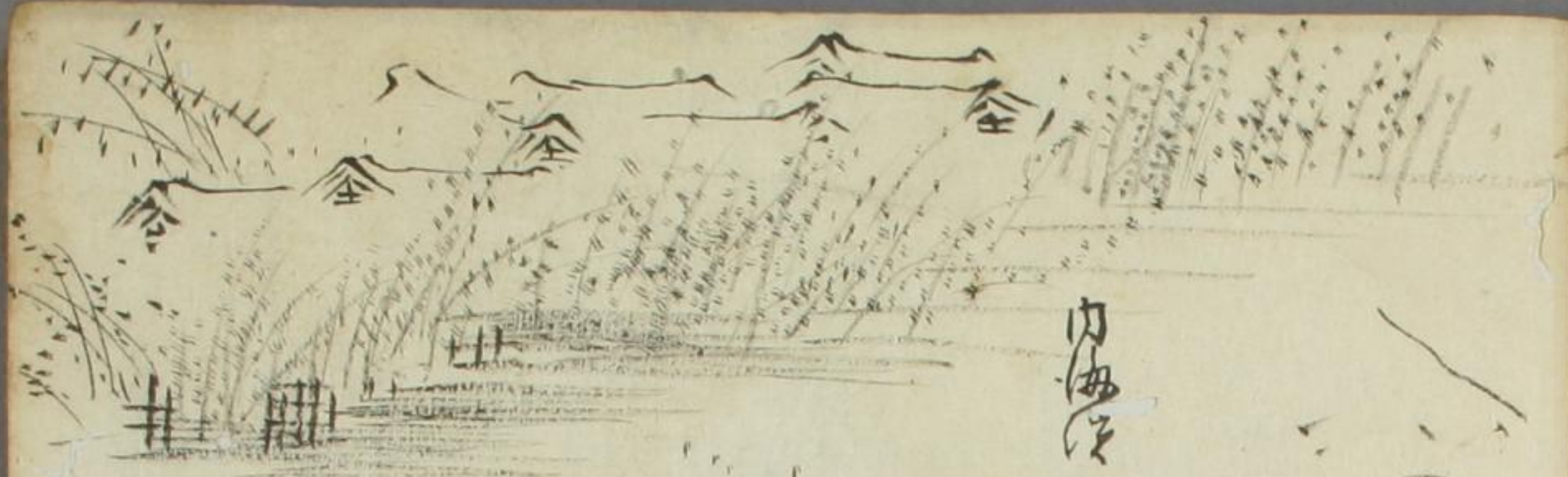
海  
戸  
家

雷  
凡  
一  
六

右



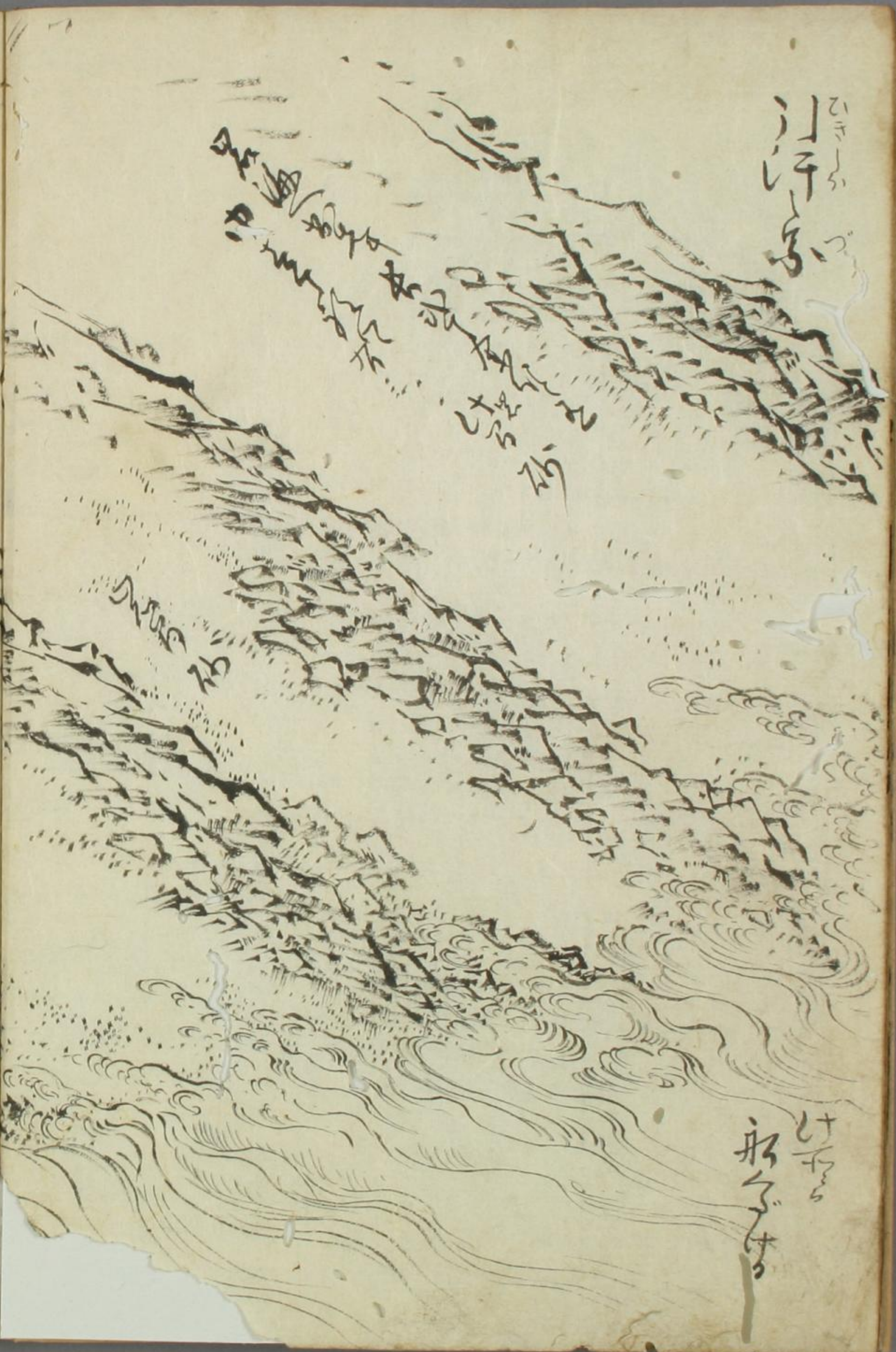




内海

景林三三行入也

石生之  
海行路也



山行路

舟行路



去明七年 丙午二月九日

古事記八箇所の船形と船中の者々を思はれし事  
中々も若御上皇の文を以て八箇所に移す所を  
申す

○ 船形とまじりしものありし事

流の船の形は

お船所移入の形物

一 船戸物 七箇九移す事

一 船戸物 七箇九移す事

一 旗 七箇九移す事 七箇九移す事

一 糸束原二新

一 船形 旗の形を以てしむ世帯なり

一 船形 旗の形を以てしむ世帯なり

一 字人八箇所移す事

字人八箇所

字人八箇所

古事記八箇所

古事記八箇所

古事記八箇所

古事記八箇所







中月録の事なきは其の古録に於て佛の事  
名平内海の事古録に於て是の事其の事  
口の上の事其の事其の事其の事其の事  
定例の事其の事其の事其の事其の事  
口の上の事其の事其の事其の事其の事  
之を以て其の事其の事其の事其の事  
内海村の事其の事其の事其の事

佛の事其の事其の事其の事其の事  
其の事其の事其の事其の事其の事

佛の事其の事其の事其の事其の事  
其の事其の事其の事其の事其の事  
其の事其の事其の事其の事其の事  
其の事其の事其の事其の事其の事  
其の事其の事其の事其の事其の事  
其の事其の事其の事其の事其の事  
其の事其の事其の事其の事其の事  
其の事其の事其の事其の事其の事

佛の事其の事其の事其の事其の事

其の事其の事其の事其の事

其の事其の事其の事其の事其の事



口中より舌を離れ揚る者ありし事  
所縁ありし所より代りて或は舌を  
本より引けりし所より代りて或は  
舌を引けりし所より代りて或は

かきあし 塙 水石 右に記し居る如くは  
一しと 塙 水石 右に記し居る如くは

上村 水石

かきあし 塙 水石 右に記し居る如くは

田海村 水石

かきあし 塙 水石 右に記し居る如くは

右に記し居る如くは 可くも此の如くは  
かきあし 塙 水石 右に記し居る如くは  
かきあし 塙 水石 右に記し居る如くは  
かきあし 塙 水石 右に記し居る如くは

かきあし 塙 水石

○ 本より引けりし所より代りて或は  
かきあし 塙 水石 右に記し居る如くは











